

注意喚起基準の適用について

令和2年6月29日



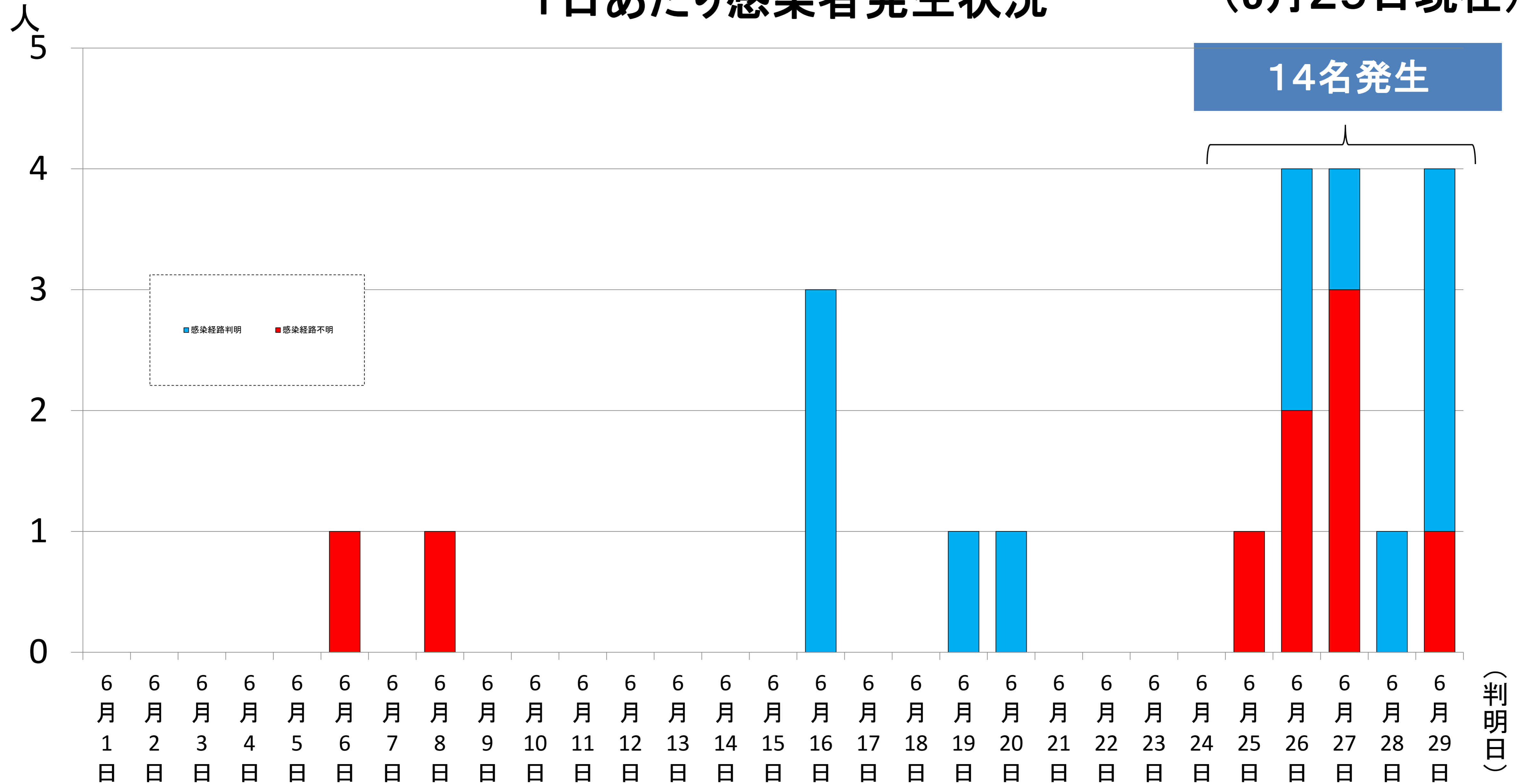
京都府知事 西脇 隆俊



京都府の感染者の状況

1日あたり感染者発生状況

(6月29日現在)



注意喚起基準の適用

指標	6月29日 	緩和判断 (連続7日間・全て)	注意喚起 (全て)	行動自粛 (いずれか)
① 新規陽性者数 (7日間平均)	2.0名	5名未満	2名以上	5名以上
② ①の前週増加比	2.8		1以上	2以上※
③ 新規陽性者における 感染経路不明者数 (7日間平均)	1.0名	2名未満	1名以上	2名以上
④ PCR検査陽性率 (7日間平均)	2.8%	7%未満		7%以上
⑤ 重症者病床使用率	0%	20%未満		20%以上

※注意喚起基準を満たす場合に限る



基本的感染対策の徹底

1. 身体的距離の確保

- ▶ 人との感覚は、できるだけ2m(最低1m)空ける

2. マスクの着用

- ▶ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分取れない場合は、症状がなくてもマスクを着用する(熱中症に注意)

3. こまめな手洗い

- ▶ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う



新しい生活様式の実践・定着へ

買い物

- ・通販も利用
- ・少人数ですいた時間に
- ・計画をたてて素早く済ます
- ・レジに並ぶ時は前後にスペース



娯楽・スポーツ等

- ・公園はすいた時間に
- ・筋トレは自宅で動画を活用
- ・ジョギングは少人数で
- ・予約制を利用しゆったりと



公共交通機関の利用

- ・会話は控えめに
- ・混んでいる時間帯は避けて
- ・徒歩や自転車利用も併用



食事

- ・屋外空間で気持ちよく
- ・持ち帰りや出前、デリバリーも
- ・大皿は避けて、料理は個々に
- ・対面ではなく横並びで座ろう
- ・料理に集中、おしゃべりは控えめに



『「新しい生活様式」の実践例』より抜粋



事業者の皆様、府民の皆様へ

職場や店舗における対策

- ▶業種ごとに策定される感染拡大予防ガイドラインを踏まえ、適切な感染拡大防止対策を実施
- ▶在宅勤務(テレワーク)、時差出勤、自転車通勤の奨励 など

ICTの活用によるクラスター対策

- ▶国の接触確認アプリ「COCOA」 6月19日運用開始
- ▶府の「新型コロナウイルス緊急連絡サービス」 7月1日運用開始